

## VIII おわりに

- 本報告書では、超高齢社会に生きる高齢者が、健康で実りのある生活を実現することを支援するリハビリテーションの在り方を検討した。その際、在宅生活の継続と生活機能の向上および自立支援を重視した。
- このようなりハビリテーションは、生活機能を向上させ、高齢者本人が希望する生活を実現することにつながるものであり、超高齢社会の中で、地域における予防や医療・介護をはじめとするさまざまな分野で、今後、重要度が一層増すものと考えられる。
- 本報告書の内容は、今後の介護保険制度の見直し、ゴールドプラン21の後継プランや老人保健事業の第5次計画の策定、2006（平成18）年度に予定されている介護報酬改定等において、検討されることを期待する。
- また、痴呆高齢者に対するリハビリテーションなど本報告書で検討しきれなかった事項については、今後、さまざまな形で議論が進むことを期待する。
- 本報告書を契機として、ひとりひとり異なる価値観を持っている高齢者へのリハビリテーションについての理解が国民及び専門家の間で深く浸透することを願っている。

## 「高齢者リハビリテーション研究会」委員

- 青井 禮子 (社) 日本医師会常任理事 (第4回～第7回)
- 石神 重信 (社) 日本リハビリテーション医学会常任理事
- 上田 敏 (財) 日本障害者リハビリテーション協会顧問
- 大川 弥生 国立長寿医療研究センター老人ケア研究部部長
- 太田 睦美 (社) 日本作業療法士協会保険部部員
- 越智 隆弘 国立相模原病院院長
- 柏木 知臣 全国脳卒中者友の会連合会副会長
- 川越 雅弘 日本医師会総合政策研究機構主席研究員
- 木村 隆次 全国介護支援専門員連絡協議会会長
- 小宮 英美 NHK解説委員
- 齊藤 正身 全国老人デイ・ケア連絡協議会会長
- 坂井 剛 (社) 日本歯科医師会常務理事
- 正林 督章 島根県健康福祉部次長
- 鈴木 隆雄 東京都老人総合研究所副所長
- 西島 英利 (社) 日本医師会常任理事 (第1回～第3回)
- 浜村 明德 日本リハビリテーション病院・施設協会会長、  
(社) 全国老人保健施設協会常任理事
- 備酒 伸彦 兵庫県但馬県民局但馬長寿の郷地域ケア課主査
- 藤田 郁代 日本言語聴覚士協会会長
- 山口 武典 国立循環器病センター名誉総長
- 山崎 摩耶 (社) 日本看護協会常任理事
- 吉尾 雅春 (社) 日本理学療法士協会神経系研究部会部長

(敬称略、五十音順、○は座長)

## 研究会精査・研究の経緯

2002(平成15)年

7月10日 第1回研究会

- 高齢者リハビリテーションの現状と課題について

8月21日 第2回研究会

- 要介護状態にならないようにする予防的リハビリテーションについて
- 各ステージ毎のリハビリテーション提供体制について
- 地域リハビリテーション提供システムについて

9月18日 第3回研究会

- 福祉用具・住宅改修の提供体制について
- 利用者のニーズに応じた多様なリハビリテーション提供体制について

10月29日 第4回研究会

- 論点整理

11月17日 第5回研究会

- ヒアリング及び報告書骨子討議

2004(平成16)年

1月15日 第6回研究会

- 中間報告書(案)討議

1月29日 第7回研究会

- 中間報告書まとめ